

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)

【公開番号】特開 2001-101199 (P2001-101199A)
【公開日】平成 13 年 4 月 13 日 (2001.4.13)
【出願番号】特願 平 11-275742
【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 17/30

G 0 6 F 17/28

【F I】

G 0 6 F 15/40 3 7 0 A

G 0 6 F 15/38 Z

G 0 6 F 15/401 3 1 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 11 月 20 日 (2003.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】文書処理装置および文書処理方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力された文書を分類してその結果を出力する文書処理装置において、
前記文書が入力される文書入力手段と、
前記文書入力手段から入力された前記文書を記憶する文書記憶手段と、
前記文書記憶手段に記憶されている前記文書から係り受け関係を有する形態素群を抽出する形態素群抽出手段と、
前記形態素群抽出手段によって抽出された前記形態素群を、その視点に応じて分類する形態素群分類手段と、
を有することを特徴とする文書処理装置。

【請求項 2】

前記文書記憶手段に記憶されている前記文書を、前記形態素群分類手段の分類結果に応じて分類する文書分類手段を更に有することを特徴とする請求項 1 記載の文書処理装置。

【請求項 3】

前記形態素群分類手段は、前記形態素群を対応する概念にそれぞれ概念化し、所定の規則を適用することにより分類を行うことを特徴とする請求項 1 記載の文書処理装置。

【請求項 4】

特定の視点の入力を受ける視点入力手段を更に有し、
前記形態素群分類手段は、前記視点入力手段から入力された前記視点に応じて、前記形態素群の分類を行うことを特徴とする請求項 1 記載の文書処理装置。

【請求項 5】

特定の視点の入力を受ける視点入力手段を更に有し、

前記文書分類手段は、前記視点入力手段から入力された前記視点に応じて、前記文書の分類を行うことを特徴とする請求項 2 記載の文書処理装置。

【請求項 6】

前記形態素群分類手段は、意図が「問題」である表現の「部位」と、「症状／状態」とを前記視点として分類を行うことを特徴とする請求項 1 記載の文書処理装置。

【請求項 7】

否定表現であるか否かを判定する否定表現判定手段を更に有し、
前記形態素群分類手段は、前記否定表現判定手段の判定結果を参照して、前記形態素群の分類を行うことを特徴とする請求項 6 記載の文書処理装置。

【請求項 8】

入力された文書を分類してその結果を出力する文書処理をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、
コンピュータを、
前記文書が入力される文書入力手段、
前記文書入力手段から入力された前記文書を記憶する文書記憶手段、
前記文書記憶手段に記憶されている前記文書から係り受け関係を有する形態素群を抽出する形態素群抽出手段、
前記形態素群抽出手段によって抽出された前記形態素群を、その視点に応じて分類する形態素群分類手段、
として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 9】

入力された文書を分類してその結果を出力する文書処理方法において、
文書入力手段が前記文書を入力するステップと、
文書記憶手段が前記文書入力手段から入力された前記文書を記憶するステップと、
形態素群抽出手段が前記文書記憶手段に記憶されている前記文書から係り受け関係を有する形態素群を抽出するステップと、
形態素群分類手段が前記形態素群抽出手段によって抽出された前記形態素群を、その視点に応じて分類するステップと、
を有することを特徴とする文書処理方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は文書処理装置および文書処理方法に関し、特に、入力された文書を分類してその結果を出力する文書処理装置および文書処理方法に関する。